

フィエスタ3

(ペレニアルライグラス)

最高級のニュータイプペレニアルライグラス

フィエスタ3は1999年に発売開始された、ピクシード社の最新型ペレニアルライグラスです。フィエスタ3は、現代的最新型エリートタイプペレニアルライグラスとして、過去に大変人気のあったフィエスタ(1975年発売)とフィエスタ2(1986年発売)の後継品種として開発されました。初代の“フィエスタ”と同じように、フィエスタ3はピクシード社とラトガース大学との共同開発により育種され、先代の特徴、長年の伝統を引き継ぎながら開発が続けられています。

暗緑色、緻密で耐久力がある

フィエスタ3は最も先進的なターフタイプペレニアルライグラスの品種の中の最新の標準的特長を持っています。それは、エンドファイト感染型で、暗緑色で、細い葉を持ち、年間を通じて、たとえ暑いストレスのかかる夏場の期間であってもすばらしい緻密なターフを維持することができます。総合的に芝としての優れた特徴をもっています。

フィエスタ3はピシウム、ブラウンパッチ、ピワ灰青病などを含む、芝のほとんどの病害に抵抗力のある品種としてスクリーニングにかけられています。このような“高温期”の病害に耐えられるペレニアルライグラスほとんどありませんが、フィエスタ3はこれらの病気により抵抗性を持つ品種として育種されました。

フィエスタ3は競技場、遊技場、公園、ゴルフ場、家庭庭園、また短期間で造成したい、魅惑的な芝を必要とするところでの使用に推奨します。フィエスタ3は細葉のフェスクやケンタッキーブルーグラスなど、他の寒地型芝との混合に大変よくあいます。フィエスタ3には土壌pHは6.5から7.0が理

想的ですが5.0から8.0まで適応することが可能です。フィエスタ3はよく耕された、排水の良いローム土においてよく育ちますが、クレイ、砂状土で排水の悪い湿潤なところでも適応可能です。

速やかなターフ形成

フィエスタ3は大変速やかなターフ形成をすることができます。平均的な播種状況においては、フィエスタ3は播種後5から10日で発芽し、3から4週間で刈り込みが必要となります。寒地型芝の地域での平均的播種量は m^2 あたり25~35gです。南部の休眠期のグリーンへのオーバーシーディングは m^2 当たり100~200gが推奨です。

フィエスタ3は種子数は平均グラム当たり660粒となっております。通常の管理と散水があれば芝の成長期のいつでも播種することができます。ですが理想的には晩夏から初秋、あるいは初春から中春の間が播種適期となります。

管理

通常の場合、フィエスタ3は成長期、月あたり実際の窒素量で2.5~5g/ m^2 を必要とします。一般的には適量のリン酸、カリ、硫黄、微量元素を含む肥料を適量使用することが望ましいです。

多年草芝のフィエスタ3は35mmの刈高が最適ですが、場合によってはそれ以下でも可能です。オーバーシードのグリーンではグリーンの刈高でも可能です。

供給

フィエスタ3は1999年7月に商業ベースの供給が開始となりました。主にはフツラ300というブランドで、カッター、サンシャインとの混合で供給されています。もちろん単体としても供給され、ケンタッキーブルーグラスや細葉のフェスクとの混合としても使われております。